

ファミリー フッキング



米料理

ごはんは、健全な食生活と健康づくりにつながり、消化のよい、1級カロリー食です。

▶ しめじごはん

材 料

米カップ3、しめじ1袋、
人参 $\frac{1}{2}$ 本、ぎんなん20粒、
だしカップ1、さとう、みりん
しょう油、酒、塩、

- ①米はきれいに洗い、30分以上水につける。
- ②しめじは石づきをけずり取り、2〜3本ずつ小房に分けておく。
- ③人参は皮をむき、厚さ3ミリぐらいの薄切りにして、抜き型でもみじの形に抜く（またはたんざく切り）
- ④ぎんなんはからを取り、湯の中に入れ、2〜3分煮ながら玉じやくしてころがして皮をむく。
- ⑤小なべにだしカップ1を煮たて、人参を入れ、中火で4〜5分煮て柔らかくなったら砂糖小さじ1、みりん小さじ1、しょう油小さじ2で味つけする。
- ⑥しめじを加え、さつと煮る。最後にぎんなんを入れ、火をとめる。
- ⑦炊飯器に米を入れ、煮汁と水を合わせて3 $\frac{1}{2}$ カップ、酒大さじ2、塩小さじ1、しょう油大さじ1を加えて、軽く混ぜ合わせて炊く。
- ⑧スイッチがとまったら⑥の具を手早く混ぜむらし、約10分ぐらしたら全体に混ぜ合わせる。

観光客が大館に来てくれたら、旅館の食事は全国どこでも食べられるものではなく、大館でなければ食べられないキリタンポやトンブリ、山菜、つけ物などを出したらいいたいと思います。
市民一人ひとりがその気になって、来市する観光客やセールスマンなどに接するべきです。各会社に来られる営業マンに一言、必ず「キリタンポを食べて帰ってください」と言うだけでも、大館をPRすることができると思っています。

非行原因の一つに家庭における教育機能の低下が叫ばれ、特に父親の権威の喪失が問題視されています。
民主的であるためには、父権絶対ではないという反省から、今度は逆転して、弱い父親、おとなしい父親、しからない父親、甘い父親、ついには家庭教育から逃げ腰の父親、放任の父親にまで落ちてしまった風潮があります。
そのため、母親の肩に全責任がかぶさるようになって、現在では

こわい母親

子供たちを健やかに育てるために⑩

親の役割

元婦人補導員

馬 渕 理

「こわい母親」が増えてきたようです。全責任をもつ母親となると、どうしてもしかる役目や小言ママの役目を果たさざるをえなくなるのです。
一般に父親が厳しいと母親が甘くなり、母親が厳しいと父親が甘くなりがちです。つまりバランスをとるという関係が生まれるのです。同様に、お母さんが全責任をとるとお父さんがまかせたという気持ちになりがちです。

父親の役割

食べさせたり、着せたり、寝かせたりという、身の回りの世話も母親にまかせても、家庭教育の基本方針とか、重大なポイントをしつかり持つて、お母さんを支持したり指導したり、困った時に相談相手になつてくれるお父さんでしたら、それは立派に父親の役割を果たしているといえます。
また、お父さんが、子供のいったこと、したことを、描いた絵などについて関心を示し、それについてコメントや意見などを、お母さん

母親の役割

日常生活面で、こまかい点に気がつくとか、めんどろみがいとか、やわらかみや柔軟さがあるとか、感情面が豊かであるとか、声や態度、動作などから女性特有の長所を十分に発揮できれば、それが母親としての特技となり、父親にないものを表現できれば立派です。
父親と母親の役割を考えると、両者が全く同じであればよいというのではなく、お互いの長所を発揮し、短所を補う役割をもつことができれば理想といえます。

各分野では、それぞれポスト対策に懸命のようであるが、わが市には恵まれた美しい自然があり、長い伝統をもつ行事がある。大館を売り出すには、秋田、青森、岩手の中間地として北奥羽単位のイベントが最適と思う。野球、陸上競技、ゲートボールなどに施設の整った長根山運動公園、整備された長木川河川敷、これらを利用したいものだ。
特に長木川と河川敷は、春には芝桜が咲き、夏には各種のイベントが催され、冬になれば白鳥が訪れる。市街地にながらにして白鳥を観察することができ、四季を通じて市民のオアシスとなっている。ほかに市内各地に湧出する温泉を大館、十和田湖線の樹海ラインと結んで売り出す。
春に訪れた人が夏に、秋に訪れた人が冬に、もう一度大館を訪ねてみたい、そう感ずる大館市。春に飛び立った白鳥が忘れずに冬にまたやってくるように、いつまでも美しい自然と恵まれた環境を大事にしたいものである。

秋田犬で

全国へPR

吉田 秀人(水門町)

大館を売り出すということは、大館を知らない人に、大館を知ってもらうことです。
ある人が「大館の人は、本場の秋田犬をなぜ利用しないのか」と話していました。私も同感です。

日本中の秋田犬を飼っている人たちに大館の名産品を送って大館をPRするとか、秋田犬の成犬は大きくてこわいという方には、かわいい子犬をすめたらいかげしょう。今年七月には「ハチ公物語」が上映されますが、今こそ市長をはじめ、市民の代表が渋谷のハチ公の銅像前で、子犬をつれて大館をPRしたらどうでしょうか。また渋谷にある幼稚園に子犬をプレゼントしたり、在京の秋田県出身の有名人や、テレビなどで人気のあるタレントにも子犬をプレゼントしたらよいと思います。今の犬を明るくするためには、秋田犬が大いに宣伝するしかないのではと考えます。

観光客が大館に来てくれたら、旅館の食事は全国どこでも食べられるものではなく、大館でなければ食べられないキリタンポやトンブリ、山菜、つけ物などを出したらいいたいと思います。